

いちにのさんしん



日本医療機能評価機構
認定病院

原三信病院 広報誌

2016.7.1
No.56

特集

外来でできる
大腸ポリープの内視鏡治療
（コールドポリペクトミーについて）



作品名：「夏花（優美）」 撮影地：福岡市東区花火大会 写真部 米倉 礼子

病院理念

病人のための病院

病院基本方針

- 一、質の高い医療の追求
- 一、居心地の良い環境の提供
- 一、心のこもったサービスの実践

CONTENTS

- さんしんニュース……………1
- THEがんばる人「WLB活動-ワークライフバランス-」…2
- 特集「外来でできる大腸ポリープの内視鏡治療」…3
- 栄養科だより・薬の豆知識……………4
- 新・原三信「新棟 新着 情報 Vol.10」……………5
- 暮らし歳時記・香椎原病院だより……………6

原三信病院ホームページが新しくなりました

4月1日より原三信病院ホームページが新しくなりました。
新しいホームページを紹介します。

1

スマートフォン・タブレットでも見やすく

最近ではスマートフォンやタブレットで見られることも多くなりました。新サイトはスマートフォンの小さい画面でも見やすくなっています。



2

メニューへアクセスしやすくなりました

ホームページの内容をグループに分けて項目を探しやすくしました。また、これまでは縦に長いページではメニューが上に隠れてしまい、いちいちトップに戻る必要がありましたが、リニューアルしたサイトは長いページでもメニューが上に残りますので、アクセスがしやすくなりました。



3

お知らせ・ページ更新・採用情報が見やすく

従来もお知らせはありましたが、今回はページ更新情報と採用情報が同じ場所で見られるようになりました。ページ更新は今後も積極的にしていきます。ぜひ訪問時はチェックしてみてください。

4

トップページのボタンが 大きくわかりやすく

新サイトでは注目情報がパネルの形でわかりやすくなっています。今後も皆様にご紹介したい情報を追加していきます。

5

画面サイズ、文字も大きく

画面サイズは、これまでよりも横幅を多くとっています。また、文字はこれまでに比べ20%大きくしました。

これからも、みなさまにとって使いやすい、見やすいホームページを作っていきます。

広報・連携委員会

Q WLBとは？

A WLBのL(Life)は子育てだけでなく「仕事以外の生活」全部です。また、仕事と生活が50%ずつと言う事ではなく、仕事と生活を調和させることで、人によってバランスのとり方はいろいろあります。個人それぞれのバランスで、仕事と生活の両立を無理なく実現できる状態の事です。両者間に好ましい相乗効果を高めようという考え方とその取り組みをさします。

Q どんな活動を行っていますか？

A まず、2010年4月に時短正職員制度が法制化となる前に看護部内で「多様な勤務形態導入プロジェクト」を立ち上げ、育児支援制度の明確化と時短正職員制度を導入しました。そして、プロジェクトは、子育てのためのWLBだけでなく、看護部全職員のWLBに取り組んできました。毎月1回会議を行い、育児支援として月1回の昼休みを活用したランチミーティング、また育児支援以外にもリフレッシュ休暇の導入と働きかけ、リリーフナースの配属先などを検討しています。

「THE がんばる人」

WLB活動—ワークライフバランス—

Q どんな取り組みを行っていますか？

A ランチミーティングでは、時短正職員の業務上困っていることなどないか現状把握をしたり、勉強会を行っています。勉強会は、時間的に出席困難な夕方の研修会をDVD視聴したり、認定看護師などの協力のもとに最新の知識と技術を得る機会としています。また、初妊婦さんへの参加も促し、妊娠して不安なことや復帰するにあたり先輩からのアドバイスをもらったりしています。リリーフナースの配属については、休みの消化や残業削減などの目的で全病棟の業務量を科長に聞き取りして、リリーフナースをどこに配属するのが効果的か検討し配属しています。



ランチミーティングの様子

Q PRメッセージ

A 育児支援制度、時短正職員制度を導入する時は、制度を利用しない人はしわ寄せがくるのではと意見がでました。しかし、制度を利用する看護師が限られた時間の中で一生懸命働くことは、若い看護師のお手本になっています。また、制度を利用しない人にはリフレッシュ休暇を導入することで、仕事と生活にメリハリができたようです。今では、男性看護師も育児支援を利用しています。WLBで職員の生きがいや働きがいが高まる事によって、患者様にも良い看護が提供できると考えています。

この人に注目!

村岡



斎藤

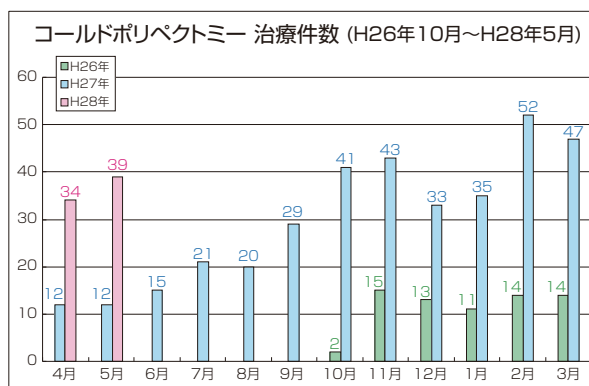
藤川

看護副部長 村岡 弘恵

外来でできる 大腸ポリープの内視鏡治療 ～コールドポリペクトミーについて～

コールドポリペクトミーとは

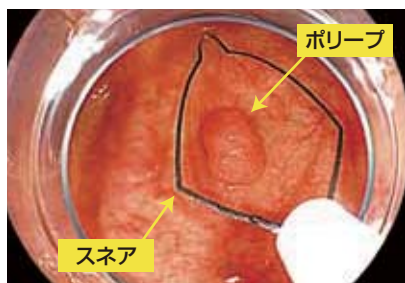
コールドポリペクトミー(cold polypectomy)とは、従来からの高周波電源装置を用いて通電して焼き切る方法ではなく、通電せずに生のままで大腸ポリープを切除する方法で、近年導入する施設が増えています。コールドポリペクトミーには、鉗子でポリープを掴んで切り取るコールドフォーセプスポリペクトミー(cold forceps polypectomy)とスネアと呼ばれる専用のワイヤを用いて絞扼して切り取るコールドスネアポリペクトミー(cold snare polypectomy)の2種類があります。当院ではコールドスネアポリペクトミーを2014年10月より導入しており、2015年度は220名を超える多くの患者さんに治療を行いました。



適応となる大腸ポリープ

ポリープの大きさが10mmまでで、平坦型または亜有茎性の大腸腺腫という良性腫瘍が対象となります。有茎性のポリープや大きさ10mm以上のポリープ、癌が疑われるポリープはコールドポリペクトミーの対象外です。

コールドポリペクトミーの特長



従来からの通電してポリープを切除する方法では、粘膜がやけどのような状態になるため、術後に出血や腸壁に穴が開く(穿孔)の危険性があり、通常は入院での治療が必要となります。コールドポリペクトミーは通電しないため、切除直後にごく少量の出血は伴いますが、術後の出血はまれとされており、外来での日帰り治療が可能です。

外来での大腸内視鏡検査の際に大腸ポリープが発見された場合、コールドポリペクトミーの適応病変であれば、そのまま検査中に治療まで行うことができます。多少の制限はありますが、治療当日の夕食から食事をして頂くことが可能です。

また、抗血栓薬(血液を固まりにくくする薬)を服用中の方でも、コールドポリペクトミーでは術後の出血は非常に少ないと報告されており、治療可能な場合がありますので、詳細につきましては主治医や消化器科医師などにご相談下さい。

消化管内科 部長
原口 和大





栄養科だより



栄養科
東 さやか

『ゴーヤ』 苦瓜(にがうり)、ツルレイシとも呼ばれるゴーヤは、日本では沖縄や九州南部などで栽培されています。苦味成分のモモルデシンが胃酸の分泌を促して食欲を増進させます。また肝機能を高め、血糖値の低下にも効果があるといわれています。

季節の
レシピ

ゴーヤの ピクルス

[4人分]
エネルギー:200Kcal
塩分:0.4g
カリウム:600mg
ビタミンC:290mg



※写真は2人分

材料 (4人分)

ゴーヤ……………1/2本
赤パプリカ……………1/2個
黄色パプリカ……………1/2個

●ピクルス液
水……180cc 酢……200cc
砂糖……大さじ4 塩……小さじ1
赤唐辛子輪切り……………適宜
ローリエ……………1枚

栄養成分 ビタミンC、カリウム、カルシウム、マグネシウムが豊富です。
☆ゴーヤのビタミンCは加熱でも壊れにくいので、炒めものや天ぷらにも適しています。

見分け方 ・全体的に鮮やかな緑色で、黄色に変色していない
・イボにツヤがあり、しっかりしているもの
・黒ずんだり、つぶれていないもの

保存方法 ビニール袋に入れて冷蔵庫で、2日間程度。
中身の種やわたを取ると保存がききます。

作り方

1. ピクルス液の材料を鍋で一瞬煮立たせて、火を止めて冷ます。
2. ゴーヤは両端を落とし縦半分に切り、種とわたをくり抜く。わたも食べることができます。
3. ゴーヤは5mm厚さに切り、塩もみをして、5分後に水洗いする。パプリカは縦半分に切り、種を取り除き、横にして1cm厚さに切る。
4. ピンまたはタッパーにゴーヤ・パプリカを入れ、冷ましたピクルス液を流し、全体に漬け込み、冷蔵庫へ。

ワンポイント 1週間を目安にお召し上がりください。

薬の豆知識

おなかの薬について

いつの間にか日中は汗ばむような季節になりました。この時期多いのが、冷房の当たりすぎなどでお腹が冷えることによる下痢や消化不良などです。

今回は、そういう時に処方される
お腹の調子を整える薬を紹介したいと思います。

☆胃腸運動調整薬

胃腸の動きを活発にし、その動きを正常化します。吐き気や腹部不快感を抑える作用もあります。

☆健胃消化薬

食物を消化する時に必要な消化酵素が含まれています。胃腸の調子が良くないとき消化を助けます。

☆鎮痙薬

お腹の筋肉の緊張を緩め、過敏な腸の動きを抑えます。お腹の痛みも和らげます。



薬剤科 宮地 亜妃

☆整腸剤:

腸内環境を整えます。毎日継続して内服することでその効果が発現すると言われています。

気温が上がると冷たい物を摂る機会も多くなりますが、なるべく消化の良いものを選び夏に備えましょう。もし市販の薬を購入する時は薬剤師にご相談下さい。





新・原三信

新棟

新着

情報

Vol.10

新外来化学療法室のご紹介です。

ご案内

平成28年3月末、東館2階に外来化学療法室が移動しました。室内は明るく広々としています。旧外来化学療法室はベッド4床でしたが、新化学療法室はリクライニングチェア3台、ベッド2床、観察室1床、計6床で治療を行えるようになりました。それぞれのベッドにTVの備付があり、トイレも車椅子で入れる広さが確保されています。外来化学療法の件数も少しずつ増えてきており、日によっては待ち時間がでることもあります。今後新しい薬剤の承認と共に件数も加増していくのではないかと考えています。治療中の患者さん自ら「明るくてここでの治療なら頑張れそう。」「車椅子で来ても大丈夫ですね。」などと嬉しい声も聞くことができるようになりました。長時間の治療や短時間で終了する治療と様々ですので、患者さんの状態も考慮しながらベッドの調整も行っています。

スタッフの体制

勤務は専属看護師3名で、件数に応じて他科への応援体制をとり2～3名で治療を行っています。室内が広くなったためパソコンをベッドサイドまで移動させ、患者確認をしながら実施をしています。安全、確実に投与できるよう観察も工夫し定期的にラウンドするようにしています。重要な薬を扱う部屋でもありますので、スタッフ同士の声掛けや呼吸を合わせることを心がけています。また看護師だけではなく、医師、薬剤師とも協力し患者さんが生活者として不安なく暮らせるよう全面的に評価し、支援できるように頑張っています。



治療導入から患者サポート体制

外来化学療法の導入時には新パンフレットを用いてオリエンテーションを行っています。室内の紹介から当日の流れ、費用についての情報提供をし、安心して治療が行えるよう案内しています。また在宅で体調が悪くなったときは遠慮なくいつでも病院に連絡をしていただくよう伝えていきます。連絡を受けたときはその都度症状に応じてアドバイスし、必要時は受診して処方を受けていただくよう促しています。オリエンテーション施行後は他のスタッフに患者さんの情報提供をしながら、支援が必要なところを含めてカンファレンスを行うようになりました。



待合室



化学療法室の様子

がん化学療法看護認定看護師
長田 佐緒里



暮らし歳時記

昔から大切にされてきた四季折々の行事や旬のものには、暮らしを豊かにするヒントがいっぱい。上手に取り入れて、もっと季節を楽しんでみませんか？

7月〈文月〉甘酒

「真夏に甘酒？」と思われるかもしれませんが、江戸時代、天秤棒をかついで売り歩く甘酒屋は夏の風物詩の一つでした。俳句では夏の季語になっています。

ブドウ糖やアミノ酸などが豊富で「飲む点滴」と言われる甘酒。栄養学の知識がない時代でもそれを経験として知っていたのでしょう、夏バテ防止のために庶民が飲む、いわば手軽な栄養ドリンクでした。今年はずいぶん「夏の甘酒」を試してみませんか？ 苦手な方も牛乳で割ったり、柑橘系の果汁を足せばさっぱりと飲めますよ。

8月〈葉月〉山の日

今年から8月11日は「山の日」として国民の祝日になりました。「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」日とされています。

今や登山はレジャーとして親しまれていますが、古来は宗教的な行事で、神々がいる山には夏の間には登れません。そこで、山に入れる最初の日には「山開き」を行うようになったというわけ。

心身ともにリフレッシュできる登山は、幅広い年齢で楽しめる生涯スポーツとも言われます。「山の日」をきっかけに、夏山の魅力を味わってみませんか？

9月〈長月〉十五夜

十五夜は旧暦の8月15日のことで、新暦に置き換えると9月中旬から10月初旬にやってきます。この時期は空が澄み渡り、1年のうちで月が最も美しく見えると言われています。

月には高地の白い部分と、「海」と言われる平地の黒い部分があり、地球から見るとそれらがいろいろな模様に見えるのです。日本では「うさぎの餅つき」ですが、外国ではカニ、女性の横顔、ライオンなどさまざま。海外で運良く満月に出会えたら、ぜひ夜空を見上げてみてくださいね。



香椎原病院だよっ

回復期リハビリテーション病棟(3-3病棟)のご紹介

回復期リハビリテーション(3-3)病棟は、脳血管疾患又は大腿骨頸部骨折等の患者様に対し、日常生活能力の向上及び在宅復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行う病棟です。高齢化



3-3病棟スタッフ

が進み多種多様な社会背景や生活様式の方がおられる中、発症前の生活状況や現在の状況などを考慮し、退院後もその人らしい生活が継続して送れるように努めています。また毎日の個別リハビリ以外に病棟活動としてお菓子作り、作品作り、グランドゴルフなどを行い日常生活能力の向上だけでなく、入院中の気分転換にも努めています。自宅訪問や外出訓練などを行い、退院後の生活環境を確認し、暮らしやすい生活が送れるように多職種のスタッフがチーム一丸となって早期在宅復帰を目指しています。

香椎原病院 3-3病棟
看護科長 嶋田 朝子

＋ 病院及び関連施設のご案内

原三信病院



〒812-0033 福岡市博多区大博町1-8
 ☎092-291-3434 FAX092-291-3424
 URL <http://www.harasanshin.or.jp>
 ☒ info@harasanshin.or.jp



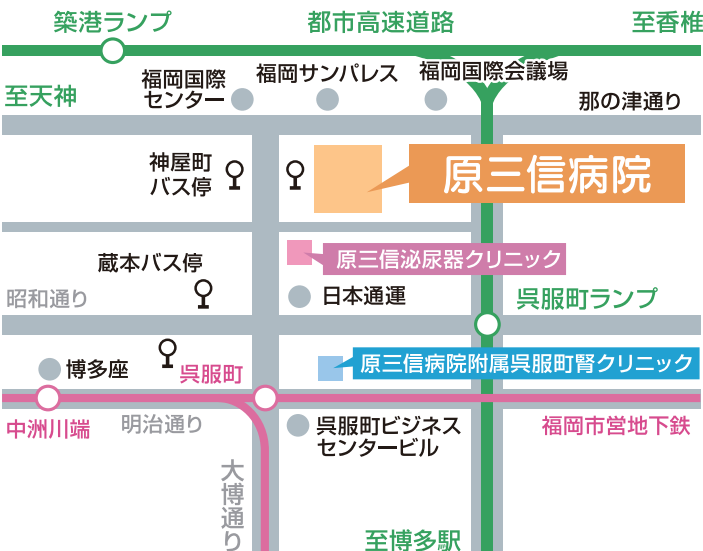
● 診療時間

月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00
 土曜日 9:00～13:00

※日・祝祭日および8月15日・12月31日～1月3日はお休みです。但し、急患の患者さんは、救急外来にて診察いたします。また、12月30日は午前診療のみとなります。

● 診療科目

総合診療科 循環器科 消化器科 呼吸器科
 糖尿病科 外科 血液内科 腎臓内科
 脳神経内科 整形外科 脳神経外科 泌尿器科
 婦人科 放射線科 麻酔科 病理診断科
 睡眠呼吸障害センター 健康管理センター 歯科



シャトルバスのご案内

原三信病院 ←→ 博多港 を
運行中。

患者さんはもちろん、ご家族の方やお見舞の方もご利用下さい。(無料)

※詳しくは病院内の時刻表をご覧ください。



香椎原病院



〒813-0011 福岡市東区香椎3-3-1
 ☎092-662-1333 FAX 092-662-1330
 URL <http://www.kashiwajima.or.jp/>

● 診療時間 月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00
 ● 診療科目 内科・リハビリテーション科・循環器内科

シャトルバスのご案内

香椎原病院 ←→ 千早駅西口 ←→ 吉塚駅東口
 ←→ 原三信病院 間を運行中。(無料)

シャトルバス時刻表

	香椎原病院発	千早駅西口発	吉塚駅東口発	原三信病院着	原三信病院発	吉塚駅東口発	千早駅西口発	香椎原病院着
午前 9:30				10:00	10:10	10:20	10:40	10:50
午前 11:25		11:35	11:55	12:05	12:15	12:25	12:45	12:55
午後 13:40	13:50	14:10	14:20	14:30	14:40	15:00		15:10
午後 15:40	15:50	16:10	16:20	16:30				17:00

運休日: 日曜・祝日・年末年始

※時刻、路線は変更することがございます。詳しくは受付にてお尋ね下さい。

原三信病院附属 呉服町腎クリニック



〒812-0035 福岡市博多区中呉服町1-25
 ☎092-262-2828 FAX092-262-2853
 ☒ gofukumachi@harasanshin.or.jp

● 透析シフト
 月～土曜日 9:00～(昼透析)
 16:00～(夜透析)

※透析は週3回(月水金・火木土)の昼と夜の4シフトで行います。

● 診療内容 人工透析

原三信泌尿器クリニック



〒812-0034 福岡市博多区下呉服町2-13
 双和ビル2F
 ☎092-283-5121 FAX092-283-5131

● 診療時間
 月～金曜日 9:00～13:00
 14:00～17:00

● 診療科目 泌尿器科